

組織名称	環境文化部
補職名・氏名	部長 伊藤 徳朗

令和4年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標

目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
目標1 文化・生涯学習活動及びスポーツ活動推進のための環境整備 文化・生涯学習活動及びスポーツ活動推進のための施設等の整備	①バロー文化ホールリニューアル工事推進。リニューアルコンサート(1月)、喫茶室の入居者決定(8月) ②笠原中央公民館機能統合と長寿命化工事に向けた実施設計 ③星ヶ台運動公園整備実施設計 ④養正公民館と坂上児童館の機能統合の推進 ⑤現指定管理期間後の三の倉市民の里の利活用協議 ⑥文化施設(15施設)及びスポーツ施設(18施設)の新型コロナウイルス感染への対応等、適正な施設管理 ⑦指定管理者施設の適切な評価(7月) ⑧滝呂地域ほか公民館がない地域への生涯学習対応(コーディネーター事業等) ⑨星ヶ台競技場の2種公認について方針決定	①当初スケジュールを堅持し改修工事を完成(1/8開館)。喫茶室入居者を選定(8/29)新装開店(2/15) ②実施設計完了(7月末)。住民説明会開催(2回)。改修工事契約締結(12月) ③基本設計完了(5月)を経てパブコメ実施(8月)。実施設計完了(3月) ④公民館の駐車場を拡張。機能統合の方針決定。地域説明会を開催(2回)。基本設計に着手(3月) ⑤地元関係者との意見交換を継続実施(3回)。不調設備の対応策を決定し修繕を実施 ⑥⑦指定管理者と毎月連絡調整実施。各施設をヒヤリングし評価委員会を開催 ⑧滝呂校区生涯学習推進会議を実施(4/26, 9/30)。4地区で生涯学習プログラムを実施(約60回) ⑨公認の有無も含め、必要経費や影響等を整理	T2
目標2 ごみの適正処理、施設の安定運用、火災後の対応、市営墓地管理 ごみ処理施設の安定運用、火災後の破碎ごみの安定処理、ごみ焼却施設の広域化協議、墓地需要予測調査	①第2期基幹改良長寿命化工事(R3~5年度)実施 ②火災事故の処理にかかる受託業者との協議継続 ③破碎ごみの安定的な処理(名古屋市等への計画的搬入) ④東濃3市(多治見市・瑞浪市・土岐市)でのごみ焼却施設の広域化に向けた協議・調整 ⑤笠原クリーンセンターの水処理施設診断の実施 ⑥コークスの購入価格交渉と使用量の削減 ⑦名古屋環境局との良好な関係の維持 ⑧災害廃棄物処理計画の改定 ⑨プラスチック資源循環促進法の施行に伴う情報収集 ⑩墓地需要予測調査と今後の方針決定 ⑪旧火葬場跡地売却に向けた測量調査	①空調、溶融炉、燃焼ガス冷却、余熱利用、電気、通風設備工事を適正に完了 ②③受託事業者と協議継続。新たに尾張東部衛生組合と搬送交渉を実施し覚書(12/1)締結。1月から搬出開始。名古屋市へ年間搬入計画(200t)内で搬入 ④3市及び広域組合(事務局)で方向性を協議(6回) ⑤修繕内容を精査し、令和5年度当初予算に計上 ⑥ごみの溶融効率向上によりR3年度比8%削減 ⑦諏訪町定期会合等を実施し、良好な関係を維持 ⑧県の計画変更を反映して改訂(1月) ⑨先進自治体や再商品化事業者等から情報を収集 ⑩調査を実施し今後の方針を決定(3月) ⑪当面売却しないこととし調査を終了 ※臨時交付金を活用、指定ごみ袋全戸配布事業実施	T2
目標3 地球温暖化対策、環境保全事業の実施 再生可能エネルギーの普及促進、環境フェアやエコカレッジ等による人財育成、暑さ対策等の実施	①市有施設等への太陽光発電設備の導入 ②家庭用新エネルギー機器設置補助及び太陽光発電設備等設置補助(新設)制度の活用周知 ③リニア残土処理に対するJ Rとの協議、調整、監視 ④市民団体等と連携し「環境フェア2023」開催(2/19) ⑤エコカレッジなど体験学習による人財育成 ⑥中心市街地の店舗等へのドライ型ミスト設置補助制度活用の周知と補助(3件) ⑦民間事業者と連携した暑さ対策の実施 ⑧コパエ調査、特定外来生物防除の適正実施 ⑨TASKIサミット、持続可能な地域創造ネットワークへの参加	①市有施設導入50%以上を目指し、バロー文化ホールへ導入決定。プロポーザルにて事業者決定(3月) ②県補助を活用した補助制度を新設し8月から施行(4件)。市単(現行)補助金の執行率99.8%達成 ③大針工区掘削に伴う発生土等の管理についてJ Rと協議。監視体制を構築 ④実行委員会(6回開催)で準備し、開催(2/18, 19)。新たに環境団体(1団体)企業(2団体)が参加 ⑤3コースに38名の参加 ⑥ミスト貸出(6件)、店舗等への設置補助なし ⑦クールアースデー等で飲料水を配布 ⑧本庁舎周辺で調査(7月)。アライグマ28頭を防除 ⑨TASKIサミット(7/15)参加、TASKI担当者会議(1/30)開催、イベント等で春日井市と連携	T3
目標4 地域力向上・自治組織の支援、人権の推進 地域力向上組織立ち上げ、支援。自治組織の支援。人権施策の推進	①新たな地域力向上プロジェクトの立上げ支援(養正) ②地域力向上活動推進事業補助金を新設し既存地域力(根本、笠原、小泉、滝呂、脇の島)継続支援、交流会の活性化 ③地域力向上推進市内プロジェクトチームの活性化 ④区長会と連携した自治会加入促進策の継続実施 ⑤地域力推進員を活用した自治組織活動支援 ⑥地域防犯カメラ設置補助、地域集会所施設整備費補助(最終年度)、防犯灯LED化補助の期間限定による再開 ⑦まちづくり活動補助事業の次年度申請に向けたPR ⑧第3次男女共同参画プラン後期計画策定 ⑨子どもの権利相談室と関係機関との連携や子どもLINE相談等、相談業務を充実	①養正の立上げ支援(8/25、12/16) ②滝呂が補助金を活用し、滝つ子ぼうさい探検隊(7/23)、滝プラで防災体験(10/18)を実施。より活用できるよう制度見直し。交流会にて補助金等周知 ③補助金審査(7/4)、報告・次年度審査(3月) ④⑤先進自治体視察、区長会意見交換会をふまえ、提案事項をまとめ市へ検討依頼。 ⑥防犯カメラ申請12件。区長会総意の要望書により3年間延長(一部制度改正有)。防犯灯LED化申請12件 ⑦募集要項一部改正し募集(11月)、審査(3月) ⑧市民意識調査や企業アンケート結果検証、各課ヒアリング(10月)、審議会5回開催。後期計画策定(3月) ⑨連携会議開催(7月)、LINE相談件数45%増	T2
目標5 スポーツや文化振興事業の実施 市民・関係団体と連携したスポーツ・文化振興事業の実施、多文化共生事業	①トップアスリート事業(中部事業団陸上競技選手権大会等)実施 ②軽スポーツ事業(市民パドルテニス大会(10/16)、市民グラウンドゴルフ大会(2/26))開催 ③スポーツ協会との連携事業(市民スポーツ大会(春季・夏季)、市民野球祭(10月)、うながっポーツ(10/15)、健康マラソン(12/4)等)実施 ④新たな成人式「(仮)はたちの集い」を実行委員会方式で開催(1月) ⑤令和6年度国民文化祭に向けた準備作業に着手 ⑥国際交流協会と連携し多文化共生事業の実施 ⑦実行委員会と連携した「夏まつり」の開催 ⑧指定管理者や関係団体と連携した事業の実施	①中部実業団陸上競技選手権大会(10/7, 8)、ハンドボール日本リーグ(11/19)、Tリーグ(12/3, 4)、Vリーグ(2/18, 19)を実施。オリンピック出場アスリートによる教室を開催(バドミントン、柔道) ②パドルテニス(10/16)、グラウンドゴルフ(2/26)大会開催 ③水泳競技を除き、数年ぶりに全ての大会を開催 ④「はたちの集い」に正式名称決定。実行委員会(毎月開催)で企画・開催(1/8) ⑤市実行委員会発足(2月)、実施事業計画作成(3月) ⑥国際講演会(2回)、日本語講座(毎月3回)、ジュニアクラブ(5回)、在住外国人交流会を開催 ⑦虎渓用水広場をメイン会場に開催(7/31) ⑧「マンスリーコンサート」(9回)「四季のコンサート」(4回)「まちかどコンサート」を開催	T3
b 独自目標加算 (任意設定) 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動等	(目標設定)	(成果)	

組織名称	環境文化部	環境課
補職名・氏名	課長 虎澤	和洋

令和4年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			
目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
目標1 地球温暖化対策の実施と暑さ対策の推進 市有施設への太陽光発電設備の導入等再生エネルギーの普及推進。暑さ対策の実施	①市有施設等への太陽光発電設備の導入 ②家庭用新エネルギー機器設置補助及び太陽光発電設備等設置補助（新設）制度の活用周知 ③中心市街地の店舗等へのドライ型ミスト設置補助制度活用の周知と補助（3件） ④虎渓用水広場周辺への快適性向上を目指したドライ型ミストの設置 ⑤ゴーヤ配布による緑のカーテン普及（6月～） ⑥民間事業者及び関係課と連携した暑さ対策の実施 ⑦保水性インターロッキング実証実験に基づく方針決定 ⑧野立太陽光発電の把握とガイドラインによる指導 ⑨TASKIサミット、持続可能な地域創造ネットワークへの参加と春日井との連携強化	①市有施設導入50%以上を目指し、パロー文化ホールへ導入決定。プロポーザルにて事業者決定（3月） ②県補助を活用した補助制度を新設し8月から施行（4件）。市単（現行）補助金の申請率99.8%達成 ③ミスト貸出（6件）、店舗等への設置補助なし ④虎渓用水広場周辺に設置（7月） ⑤ゴーヤ苗5,000ポットを市民、施設に配布（6/4） ⑥民間事業者と連携しスクールアースデー等で飲料水、うながつばうちわを配布 ⑦気温上昇抑制効果が確認できず、また耐久性、費用対効果の面から導入しない方針を決定 ⑧相談に対しガイドラインを遵守した指導を実施 ⑨TASKIサミット（7/15）参加、TASKI担当者会議（1/30）開催、イベント等で春日井市と連携	T2
目標2 廃棄物処理の適正管理及び計画、ごみ減量・資源化の推進 ごみ焼却施設の広域化協議、ごみ処理計画策定、ごみの減量・資源化の研究	①東濃西部3市（多治見市・瑞浪市・土岐市）での広域化によるごみ焼却施設建設に向けた協議、調整（3市及び広域組合との調整） ②プラスチック資源循環促進法の施行に伴うプラスチック製廃棄物の分別収集に関する情報収集、事業者へのヒアリングによる動向把握 ③資源化を考慮した一般廃棄物処理計画の推進 ④災害廃棄物処理計画の策定 ⑤第10期分別収集計画の策定 ⑥月見センター廃止に向けた調整 ⑦23+1分別の適正実施のための地域への指導・周知 ⑧ごみ処理手数料の徴収と適正な管理 ⑨草木、生ごみの資源化推進 ⑩低濃度PCB廃棄物の適正な処分に向けた調整	①3市及び広域組合（事務局）で方向性を協議（6回） ②近隣自治体の動向を把握し先進自治体の情報を収集。再商品化事業者の説明会に参加し情報を収集 ③減量審議会で前年度実績、次年度実施計画を報告 ④県の計画変更を反映して改訂（1月） ⑤容器包装廃棄物の分別収集量を見直し改訂（6月） ⑥令和11年度に施設を廃止し下水との共同処理化の方針を決定。減量審議会に諮問し承認 ⑦リサイクルステーション職員立ち当番実施。広報紙でも周知 ⑧消費税インボイス制度へのシステム改修に対応。国の臨時交付金を活用した指定ごみ袋全戸配布事業を実施 ⑨30区の協力を得て資源化し堆肥を区に配布 ⑩低濃度PCBの最終調査を区内に周知	T2
目標3 環境基本計画に基づいた環境保全、環境学習の推進 大規模工事等への対応、エコカレッジの開催・人材育成、自然環境保全	①リニア中央新幹線に係る残土処理に対するJR東海及び関係者との協議、調整 ②市民団体と連携し、環境フェア2023を開催（2/19） ③多治見市内大規模工事（リニア他）や一般的な公害苦情に対する立入等の指導と河川水等の環境影響調査 ④環境マネジメント（環境影響事前調査、エコオフィス、グリーン購入等）の適正な運用 ⑤環境基本計画三者協議会（5回）の開催 ⑥エコカレッジなど体験学習による人材の育成 ⑦狂犬病予防地域巡回注射関連事務の適正な実施 ⑧シデコブシの保存など自然環境保護活動の推進 ⑨コバエ調査、特定外来生物防除の適正実施	①大針工区掘削に伴う発生土等の管理についてJRと協議。測定データの提供による監視体制を構築 ②実行委員会を開催し（6回）、コロナ対策を講じて開催（2/18, 19）。新たに環境団体（1団体）企業（2団体）が参加 ③リニア工事残土搬入先及び騒音、水濁、悪臭の苦情への現地立入調査、河川等環境影響調査を実施 ④環境チェックシートを適正に実施。環境マネージャー会議を開催（11月）。グリーン購入調査を実施。 ⑤三者協議会を開催し（4回）計画の進捗状況報告及び環境報告書を作成 ⑥3コースに38名の参加 ⑦5月に実施（37か所） ⑧シデコブシ罠刈り（8回）、高社サクライワ調査（7月） ⑨本庁舎周辺で発生源調査を実施（7月）。アライグマ28頭を防除	T3
目標4 合葬式墓地の管理運営と霊園管理システムの運用、火葬場の管理運営 墓地需要予測調査、合葬式墓地の管理運営、霊園システムの運用、火葬場の適切な管理運営	1. 市営霊園（合葬式墓地含む）管理 ①墓地需要予測調査の実施及び今後の方針の決定 ②合葬式墓地の適正な募集・納骨・管理運営 ③霊園墓地管理システムの適正な運用 ④市営霊園の適正な管理運営、空区画の整備・公募 ⑤地域墓地の諸問題への対応 ⑥台風等に備えた霊園内危険個所の把握と修繕 ⑦墓地・納骨堂の経営審査 2. 火葬場運営 ①指定管理連絡会議（月1回）による適切な施設管理 ②地域との協力体制を密にした施設運営、施設周辺整備、評価委員会開催（年1回） ③旧火葬場跡地売却に向けた測量調査の実施	①調査を実施し今後の方針を決定（3月） ②個別埋葬16体、共同埋葬25体を許可（1月現在） ③システムを適正に運用 ④返還区画を整備。空き区画の公募を実施（10区画）。支障木伐採、放火事件等対応 ⑤民間墓地における納骨堂無許可経営を是正。管理組合結成の相談、法面等境界相談等対応 ⑥大雨による被害状況把握。平和霊園法面復旧工事 ⑦新規、変更等3件を審査、新規経営相談5件 ⑧毎月開催し施設を適切に管理 ⑨評価委員会開催（6月）、イヌセンブリ保全活動（4月、2月）、井戸水調査（8月、2月）、地域清掃等実施 ⑩当面売却しないこととし調査を終了	T3
目標5 効率的なリサイクル推進、まち美化啓発と廃棄物の不適正処理の監視 環境美化計画の推進、美化活動団体等との連携及び廃棄物適正処理への指導	①ごみ集積場管理に関する状況把握と地域への周知 ②地域一斉清掃や美化活動団体等との連携強化 ③まち美化活動推進と新たな参加メンバーの掘り起し ④まち美化計画の中間評価の実施 ⑤空地の草刈りなど美化推進の啓発 ⑥不法投棄等廃棄物の不適切処理への監視及び対応	①集積場管理に関する苦情、要望に対し現地確認、地域への説明等の対応を実施 ②地域一斉清掃（6月）、NPO法人や地域住民等が参加する土岐川一斉清掃（10月）を実施 ③毎月まち美化協議会による美化パトロール及び定例会実施。協議会1名新規加入 ④中間評価をまち美化協議会に諮り12月に最終評価 ⑤空地の草刈り要請に対し所有者に文書発送（200件超）、再通知（10件） ⑥委託事業者との連携による監視、不適切処理廃棄物の回収、処分を実施	T3
b 独自目標加算（任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動等	（目標設定）	（成果）	

組織名称	環境文化部文化スポーツ課
補職名・氏名	課長 柳生光則

令和4年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度
目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標1 文化施設の機能統合推進と適正管理 公共施設適正配置計画に基づく施設の機能統合の推進。文化施設の適正管理	①パロー文化ホール長寿命化改修工事の完成（1月）並びにプロジェクト会議の運営、喫茶室を公募により入居者決定（8月） ②関係課と連携した筈原中央公民館統合改修計画の実施（設計、機能移転） ③養正公民館と坂上児童館の機能統合の推進 ④現指定管理期間後の三の倉市民の里の利活用協議 ⑤脇之島公民館と児童センターの運営一体化の研究 ⑥指定管理者と連携した文化施設の適正な管理運営 ⑦文化施設（15施設）の指定管理者の評価（7月） ⑧大規模修繕工事の実施（6件） ⑨文化施設の備品購入（ネーミングライツ事業含む）	①当初スケジュールを堅持し改修工事を完成（1/8開館）。喫茶室入居者を選定（8/29）新装開店（2/15） ②実施設計完了（7月末）。住民説明会開催（2回）。改修工事契約締結（12月） ③公民館の駐車場を拡張。機能統合の方針決定。地域説明会を開催（2回）。基本設計に着手（3月） ④地元関係者との意見交換を継続実施（3回）。不調設備の対応策を決定し修繕を実施。 ⑤効果及び諸課題等を整理。 ⑥⑦課題・情報共有と指定管理施設長会議（隔月）への参加。各施設をヒヤリングし評価委員会を開催 ⑧計画的に大規模修繕工事を実施（全件終了） ⑨備品購入を実施。貸出品目の規定を整備。	T2
目標2 安全に配慮したスポーツ施設の整備と適正管理 安全に配慮したスポーツ施設整備と適正管理	①多治見運動公園整備内容の決定（基本設計：5月、実施設計：3月） ②感謝と挑戦のTYK体育館再生可能エネルギー設備設置事業の完成（3月） ③体育施設（屋外を含む）長寿命化計画案作成（3月） ④次期星ヶ台競技場2種公認更新に関わる方針決定 ⑤体育施設（18施設）の指定管理者の評価（7月） ⑥指定管理者と連携したスポーツ施設の適正な管理運営 ⑦大規模修繕工事の実施（8件） ⑧体育施設の備品購入（ネーミングライツ事業含む） ⑨学校開放システムを活用した学校開放事業の推進 ⑩旧総合射撃場跡地の適正管理及び有効活用の研究	①基本設計完了（5月）を経てパブコメ実施（8月）。実施設計完了（3月） ②施工業者と契約（6/7）。工事完成・稼働（2月） ③計画案作成（12月）。パブコメ実施（1月） ④公認の有無も含め、必要経費や影響等を整理 ⑤⑥指定管理者と毎月連絡調整会議を実施。各施設をヒヤリングし評価委員会を開催 ⑦計画的に大規模修繕工事を実施（8件完了） ⑧スポーツ器具、管理車両、給水機等購入 ⑨学校開放機能を加えた新予約システムを稼働（4月）。手続の改善による市民サービス向上を実現 ⑩施設及び土壌水質を適正管理。継続的活用を調査研究	T2
目標3 文化振興、生涯学習の推進 市民団体との協働による文化・生涯学習事業の推進	①滝呂地域ほか公民館がない地域への生涯学習対応（生涯学習コーディネーター事業の充実等） ②パロー文化ホール改修竣工記念事業の実施（1月） ③新たな成人式の形となる「（仮）はたちの集い」を実行委員会方式で開催（1月） ④令和6年度国民文化祭に向けて準備作業に着手 ⑤市民や関係団体との協働による多文化共生事業の実施、国際交流協会の運営、活動団体の支援 ⑥国際交流協会の自立を目指し、課題及び対応策を整理 ⑦実行委員会と連携し「夏まつり」を開催 ⑧関係団体等と連携したコンサートの実施 ⑨指定管理者や関係団体と連携した事業の実施	①滝呂校区生涯学習推進会議を実施（4/26, 9/30）。4地区で生涯学習プログラムを実施（約60回） ②内覧会（2回）、オープン記念事業（1/28）を開催 ③「はたちの集い」に正式名称決定。実行委員会（毎月開催）で企画・開催（1/8） ④市実行委員会発足（2月）、実施事業計画作成（3月） ⑤国際講演会（2回）、日本語講座（毎月3回）、ジュニアクラブ（5回）、在住外国人交流会を開催。 ⑥先進市研究、課題を整理。会員数増へ取り組み ⑦虎渓用水広場をメイン会場に開催（7/31） ⑧「マンスリーコンサート」（9回）「四季のコンサート」（4回）「まちかどコンサート」を開催 ⑨音楽団体、笠原地域と連携した事業を計画・実施	T3
目標4 スポーツ振興、生涯スポーツの推進 第2期生涯スポーツ推進プランに沿ったスポーツ事業の実施	①トップアスリート事業の実施（中部事業団陸上競技選手権大会 等） ②女性・高齢者を対象の運動・スポーツの機会提供 ③スポーツ協会と連携した市のスポーツ事業の実施（市民スポーツ大会（春季・夏季）、市民野球祭（10月）、うながっポーツ（10/15）、健康マラソン（12/4）） ④市民団体と協働での事業開催（一斉ラジオ体操の会（8/6）、家族遊園（年3回）） ⑤軽スポーツ事業の開催（市民パドルテニス大会（10/16）、市民グラウンドゴルフ大会（2/26）） ⑥FC岐阜ホームタウンデーへの参加（4/17）	①中部実業団陸上競技選手権大会（10/7, 8）、ハンドボール日本リーグ（11/19）、Tリーグ（12/3, 4）、Vリーグ（2/18, 19）を実施。オリンピック出場トップアスリートによる教室を開催（バドミントン、柔道） ②スポーツ推進委員と連携、地域のイベント等で機会を提供 ③水泳競技を除き、数年ぶりに全ての大会を開催 ④一斉ラジオ体操開催（8/6）、家族遊園開催（脇之島小、精華小、根本小） ⑤市民パドルテニス大会開催（10/16）、市民グラウンドゴルフ大会開催（2/26） ⑥FC岐阜ホームタウンデー実施（4/17）	T3
目標5 スポーツ振興及び活動支援、文化・生涯学習活動支援 スポーツ振興及び活動支援、文化・生涯学習活動支援	①第2期生涯スポーツ推進プランの進捗管理 ②新型コロナ対策を含む、学校開放の適正な運用及び改善 ③地域スポーツ活動の支援（区行事保険加入、用具貸出、行事企画運営） ④児童・生徒全国大会出場者への支援 ⑤ジュニアスポーツのあり方の検討と活動支援 ⑥スポーツ指導者の育成及び支援 ⑦障がい者スポーツの普及・推進 ⑧文化・生涯学習活動団体への支援 ⑨社会教育振興協議会への参加 ⑩使用料等のキャッシュレス化の調査研究	①スポーツ推進審議会を開催（2月） ②学校開放施設に感染予防用品を設置 ③各自治会へ支援内容を情報提供 ④全国大会出場者の旅費助成を実施。件数増に伴い予算額を増額（支援件数 約40件） ⑤部活動の地域移行の課題を踏まえ、教育委員会との検討会議を開催（毎月開催） ⑥スポーツ指導者講習会を開催（6/30、2/19） ⑦岐阜県障害者スポーツ大会出場支援（6/5）、スポーツレクリエーション大会（ボッチャ）を開催（11/6） ⑧文化庁、自治総合センター等の補助手続き支援 ⑨社会教育振興協議会に参加（4回）。東濃地区社会教育振興大会・研修会開催（8/19） ⑩費用対効果を踏まえ研究を継続	T3
b 独自目標加算 （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等	（目標設定）	（成果）	

組織名称	環境文化部くらし人権課
補職名・氏名	課長 加藤 直美

令和4年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
地域力向上のための体制整備、自治組織支援 地域力向上のための体制整備、自治組織の活動支援、安心安全な暮らしづくり	①新たな地域力立上げ支援(養正) ②地域力向上活動推進事業補助金(新規)を活用した既存地域力継続支援(根本・笠原・小泉・滝呂・脇の島)、交流会の活性化 ③地域力向上推進プロジェクトの活性化(補助金審査) ④区長会と連携した自治会加入促進対策の継続実施、自治組織の自主的な名簿作成の継続支援 ⑤地域力推進員を活用した自治組織活動支援 ⑥拡充した地域集会所施設整備費補助金制度の周知徹底(5か年度の最終年度) ⑦防犯等啓発活動(青パト等)の実施と防犯カメラ設置補助(目標5件：5か年度の3年度目)、防犯灯LED化補助実施(目標100件：3か年度の初年度) ⑧法律相談(月2回)、消費生活・行政相談等の実施 ⑨認可地縁団体の認可事務に関する支援	①養正の立上げ支援(8/25、12/16) ②滝呂が補助金を活用し、滝つぼうさい探検隊(7/23)、滝ブラで防災体験(10/18)を実施。より活用できるよう制度見直し(3月予定)。交流会にて補助金及び公民館使用料減免等周知(5/19・3月予定) ③補助金審査(7/4)、報告・次年度審査(3月予定) ④⑤先進自治体視察、区長会意見交換会をふまえ、提案事項をまとめ市へ対応依頼。名簿作成検討を周知(8月) ⑥市長へ区長総意の延長要望書提出(8月区長会)により3年間延長(一部制度改正有) ⑦青パト貸出66件(12月末)、防犯カメラ申請12件、防犯灯LED化申請12件・67基 ⑧法律(137件)、消費生活(431件)、行政(1件) ⑨告示変更10件、規約変更2件、証明発行3件	T2
男女共同参画プランの推進による市民や事業所等の意識向上 第3次男女共同参画推進プランの実施と進捗管理、後期計画策定	①市民意識調査・企業アンケート結果の検証および各課ヒヤリングを行い、第3次男女共同参画プラン(後期計画)案策定(11月) ②男女共同参画推進審議会の開催(年5回：後期計画策定のため通常より2回増) ③第3次男女共同参画プランの実施と進捗管理 ④男女共同参画研修会(6月)、講演会開催(1月) ⑤改正したガイドラインを活用し職員、市民へ周知 ⑥庁内各種委員会における女性委員の登用推進、実態調査 ⑦周知啓発のための情報紙等発行(コラム掲載4回、関連機関への情報紙2回、ほか随時) ⑧DV撲滅イベントの開催(11月)	①②③市民意識調査・企業アンケート結果の検証、前期計画の総括、各課ヒヤリング(10月)、後期計画策定、審議会開催(5/24、7/26、9/16、11/10、2/9) ④研修会(6/29)、講演会(2/15) ⑤HP、研修会、講演会、展示等で周知 ⑥今年度2委員会(120委員会中)に女性委員登用できず。引き続き登用目指すよう庁内各課へ依頼 ⑦男女共同参画週間展示(6~7月)、女性に対する暴力をなくす運動展示(11月)、コラム掲載(5・8・11・2月)、FMびび(6・12・3月)、ミニ特集記事(7月)、国際女性デー展示(3月)、情報紙発行(3月) ⑧楽市楽座でのDV撲滅PR実施(12/4)、駅北庁舎パブルライトアップ(11/21~11/27)	T2
子どもの権利条例に基づく施策の推進 子どもの権利相談室と関係機関との連携強化と関連施策の実施	①子どもの権利相談室と関係機関の連携をより強化し、相談件数前年度比2割増加 ②子どもLINE相談、ミニレター相談の充実 ③関係課との連携による子ども相談機会会議の活用 ④「命を守る」を重点にした第3次子どもの権利推進計画(後期計画)の実施と進捗管理 ⑤子どもの権利委員会の開催(年4回) ⑥子どもの権利に関する普及啓発活動の実施(セミナー・研修会開催、コラム年4回掲載等) ⑦子ども会議の開催(11月)及び提言書を市長に提出。併せてR3年度提言内容の実現(11月~1月) ⑧子どもスタッフ会議(月1回)の開催と活動支援	①学校等訪問(6・12月)、相談件数前年度比20%増 ②友達登録者数311人(今年度124人) LINE相談件数前年度比45%増。ミニレター相談実施(12月) ③連携会議開催(7/20)、関係課と密接な体制構築により連携した相談対応 ④⑤リーフレット作成(高校生向け)、委員会(7/14、9/20、12/15、2/17) ⑥YouTube(1回)、Facebook(1回/週)、コラム(4回)、セミナー研修会(8月)、絵画コンクール(7月~)実施 ⑦第25回子ども会議(11/27)、R3年度意見書実現(マクレス・コア対策動画)、R4年度意見書提出(3月予定) ⑧子どもスタッフ会議開催(1回/月)	T3
市民組織活動支援による活気あるまちづくりの推進 NPO支援と団体交流の実施、まちづくり活動等市民支援	①特定非営利活動法人の設立支援及び認証事務の実施 ②市民活動交流支援センター(以下、「ぼると」)の管理運営と活動団体の活性化に向けた仕掛けづくり ③「ぼると」を核とした市民団体の連携実施 ④まちづくり活動補助金事業の実施と活動支援(ソフト5団体、ハード3団体)、および実施団体の情報交換促進 ⑤まちづくり活動補助金事業のPR、次年度申請団体の確保(目標：ソフト5団体、ハード1団体) ⑥結婚相談業務の企画運営による登録者及び成婚件数の増加 ⑦おとどけセミナーの活用に向けた周知、要望事務の適切な執行 ⑧生活安全推進協議会開催(2月)	①NPO認証事務適正実施(48件)、設立1件(12月末) ②講座等改善のため定期的に打合せ(4回)、登録団体の研修講師活用に向け人事課と協議(5月) ③NPOカフェ等NPOに周知(9件)、防災フェスタ開催(9月)、団体コラボに向け交流会開催(8月・1月) ④活動報告会・交流会を開催し評価実施(ソフト4団体・ハード3団体※国際情勢により1団体取下げ) ⑤委員と協議し募集要項一部改正(9・10月)、募集開始(11月)、ソフト7団体申請見込み、審査会開催(3月) ⑥モーニング婚活(7・8月計2組成立)、市民活動団体のゲームを取り入れた婚活(11月3組成立) ⑦セミナーの活用を区長会議で周知(4月)、道路要望取りまとめ対応結果を区長会議(2月)で報告 ⑧会議開催(2月)、1団体表彰	T3
人権施策推進による人権意識の啓発推進 一人ひとりの多様性を認め合えるコミュニティ形成	①第2次人権施策推進指針の普及・推進 ②人権啓発事業の情報提供及び法務局と連携した啓発活動の実施(年3回) ③人権擁護委員推薦事務の円滑な実施 ④「社会を明るくする運動」等の保護司会活動の支援 ⑤再犯防止推進計画の進捗管理(定例会5月) ⑥同和問題の情報収集及び啓発事業の実施 ⑦東濃5市同和問題研修協議会参加(当番市：恵那市)(研修会1回、協議会2回) ⑧人権同和教育講演会の開催(8月) ⑨人権普及啓発を目的とした企画展の開催(8月) ⑩犯罪被害者支援制度周知と啓発(パネル展等)。犯罪被害者相談窓口での対応・支援	①FMびび(毎月)出演、広報(8回)による啓発 ②定例会開催(4~2月)、出張人権相談(6/1、12/7) ③推薦事務の実施(9月：新2名) ④保護司会と連携し実施(庁舎に旗と啓発グッズ設置)、駅北庁舎屋外広場でセレモニーを実施(7/3) ⑤意見交換会(5/17) ⑥インターネット差別書込みのモニタリング毎月実施、解放同盟岐阜支部意見交換会(7/22) ⑦協議会参加(8/29)、県との意見交換会・隣保館視察(2/8予定) ⑧⑨人権同和教育講演会及びパネル展開催(8/18、参加者147人) ⑩講演会及びミニ生命のメッセージ展(11/24)	T3
b 独自目標加算 (任意設定) 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動等	(目標設定)	(成果)	

組織名称	環境文化部 清掃事務所
補職名・氏名	清掃事務所長 加藤義人

令和4年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標1 三の倉センターの安定維持及び適正管理 第2期基幹改良長寿命化工事の適正稼働と安全管理体制の確立、ごみ焼却施設の広域化協議	①第2期基幹改良長寿命化工事（後期：令和3年度～令和5年度）の計画的な工事の実施 ②三の倉センター火災事故の処理にかかる受託業者との和解交渉の継続 ③東濃3市（多治見市・瑞浪市・土岐市）でのごみ焼却施設の広域化に向けた協議・調整 ④経済情勢や市場の動向を踏まえたコークスの購入価格交渉及び使用量の削減 ⑤尾張東部衛生組合への破碎ごみ搬送交渉・計画確立 ⑥JIS認証スラグの生産及び分析検査の適正な実施 ⑦三の倉センターの適正な定期整備等の実施 ⑧廃棄物の適正な搬入指導と住所等の確認徹底	①空調、溶融炉、燃焼ガス冷却、余熱利用、電気、通風設備工事を適正に完了 ②⑤受託業者と協議継続。新たに尾張東部衛生組合と搬送交渉を実施し覚書(12/1)を締結。1月から搬出開始 ③3市及び広域組合(事務局)で方向性を協議(4/28、5/24、6/29、8/1、9/28、11/16) ④企業物価指数を参考に価格交渉。ごみの溶融効率向上によりR3年度比、400t:8%削減 ⑥審査申請書を適正に作成し、生産販売(770t) ⑦適正に実施し、修繕必要箇所を迅速に改修 ⑧職員が受付でチェックと指導実施(11/9、12/22、1/24)	T2
目標2 大畑センターの適正管理、破碎ごみの処理 施設内の徹底した安全管理 火災により蓄積した破碎ごみの計画的な処理	①破碎ごみの適正な管理及び恒常的処理の実施に向けた破碎、分別、減量、搬出処理手順の確立 ②大江破碎工場へ破碎ごみの搬送実施 ③尾張東部衛生組合への破碎ごみ搬送交渉の成立に伴う適正な運搬開始 ④リーチローダーの購入に伴う飲料缶圧縮機の改修 ⑤管理型処分場の稼働状況について、大畑地区への説明会を年1回開催（6月予定） ⑥市況の状況を検討し、金属等の適正な売却を実施 ⑦廃棄物の適正な搬入指導と住所等の確認徹底 ⑧朝礼、昼礼、夕礼で注意喚起を行い、安全管理を徹底し、職員及び来場者の無事故継続を維持 ⑨センター内搬入路や施設の安全管理	①破碎ごみの安定保管(3か月)を徹底し、火災を予防。三の倉センターへ72回(168t)の搬出を実施 ②年間搬入計画を適正に作成(200t)し、毎月適正に実績報告書を提出 ③適正計画に基づき運搬開始(1月)。委託費を削減 ④事業者との協議で今年度は納品不可と判明。令和5年度予算に再計上 ⑤地元区長、町内会長を対象に適正に開催(6/9) ⑥入札(6/8)で売却(530t)。2回目入札(1/27)実施 ⑦免許証、許可書の確認及び開取り調査を徹底実施 ⑧各礼で危険個所の報告、協議を徹底し、注意喚起 ⑨利便性を考慮した場内サインに更新し、スムーズかつ安全な搬入を実現	T2
目標3 安全かつ丁寧で効率的なごみ収集作業等の遂行 職員の安全意識の徹底と収集委託業者との連携及び環境美化	①朝礼、昼礼、夕礼の実施による安全への注意喚起と意識付けを徹底し、無事故無違反記録を継続 ②施設の安定稼働、搬入者の安全確保のための場内外整備の恒常的な実施 ③資源収集委託業者と毎月定例会を実施し、業務状況や業務改善事項等を確認 ④収集ルートの効率化を図り、ごみ出しのルール徹底や市民の意識向上に繋がる収集業務の実施 ⑤収集時におけるごみステーションの環境美化に努めるとともに、看板の点検や交換のためステーションの巡回を実施	①朝、夕礼で収集作業上の危険個所の報告、提案、協議を徹底し、安全への注意喚起を確実に実施 ②渋滞対策を考慮した搬入者のスムーズな導線の確保及び適所へ職員配置を計画。年末年始に実証試験を実施し、実効性を確認 ③毎月の定例会で改善箇所、注意事項等の情報共有を徹底実施 ④収集員及び事務職を含めた全体協議を計画し、問題点や対策を協議し、情報共有を実施(3か月毎) ⑤収集員により、適時汚れたステーションの清掃及び点検を実施。収集後のガス避けネットの整理等を適正に実施し、市民が気持ちよく利用できるように努めた。また、看板の破損等を点検し、迅速に交換を行った	T3
目標4 清掃事務所の適正な運営・管理 清掃事務所全体の適正な運営・管理	①リサイクルステーションの適正管理 ②名古屋市環境局との良好な関係の維持 ③各センター会議の定期的な開催（月1回） ④車両の更新、配置の検討及び更新計画の検証 ⑤たい肥化センターの安定稼働に向けた連携 ⑥防災訓練の実施（各センター年1回） ⑦発電及び電気設備の適正管理 ⑧ごみ処理手数料等の改定内容の検証 ⑨5S+Sの徹底 ⑩リサイクルデパートの円滑な実施	①補助16件、その他176件等の相談に対し、適正に現場確認及び相談者へ丁寧に対応 ②愛岐処分場からの破碎ごみ残渣受け入れ、諏訪町定期会合(11/11)等を実施し、良好な関係を維持 ③毎月、業務における課題や問題点の精査を実施 ④収集車両2台を入札(5月)により購入(2月納入) ⑤受注者要望に沿う生産計画を立案し、適宜生産 ⑥三の倉センター(10/13)、大畑センター(10/18)で適正実施 ⑦長寿命化工事、受電設備の更新完了(6月) ⑧負担額について令和3年度決算ベースでの試算を実施し、令和元年度算定と同等であることを検証 ⑨場内掲示により職員の意識づけを強化し適正実施 ⑩適切に実施(10/29)し完売(収益78,730円)	T3
目標5 笠原クリーンセンターの適正管理 管理マニュアルによる適正管理	①場内維持管理マニュアル、浸出水処理施設運転マニュアルに基づく適正な巡回点検の実施 ②浸出水処理施設の計画的な保守管理の実施 ③管理型処分場の水処理施設診断の実施 ④罹災ごみ等管理型処分場搬入物の受入と適正管理 ⑤草刈り業務等の定期的な実施による施設美化の保持 ⑥モザイクタイルミュージアムへの無償貸付に伴う事務所棟の整備及び産業観光課と連携した施設の維持管理の実施	①マニュアルに沿った巡回点検を確実に実施し、修繕箇所の早期発見及び修繕を実施 ②修繕履歴と修繕計画を勘案し、的確な保全作業、安全な運転業務を実施 ③7月契約、8月設備診断、中間報告(9/13)を受け修繕内容を精査し、令和5年度当初予算に計上 ④前期罹災ごみなし。後期罹災ごみ10車(70t)市関係48車(25t)を適正に受け入れ、適正管理を実施 ⑤定期的(5,6,7,8,9,10月,11月)に施設内外の草刈り・伐採を実施し、環境美化を実施 ⑥産業観光課及び事務局と連携し、適宜維持管理について情報共有を実施	T3
b 独自目標加算 (任意設定) 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動等	(目標設定)	(成果)	